**▶スマートフォンのポジティブな使い方**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　この2年ほどの間に、スマートフォンは急激に普及しました。そのため、学校では、インターネットの危険について学ぶ講演などを行なってきました。 生徒はこのような指導を何度も受けてきたため、その場では「適切に使います」などと感想に記入します。しかし、模範的な回答ができたとしても、実際には皆が適切な利用をできるわけではありません。 典型的なインターネット利用の指導に飽きているのかもしれません。

　学校では、「スマートフォンのポジティブな使い方」という授業を行いました。危険な側面だけではなく、適切な利用の良さについて、ご家庭で話し合う機会にしていただけましたら幸いです。

**１．生徒の利用を受容し良い使い方こそ意識しましょう。**

　今の子ども達にとって、インターネットを介したコミュニケーションツールは欠かせないものです。その利用を止めるような指導をすることは実態に合わないだけではなく、子ども達の反発につながることもあります。インターネットを介したコミュニケーションの利用が、多くの子ども達に必要なツールであることを受容し、適切な利用ができていることを認めてあげてください。子ども達が意識しなければいけないのは、不適切な利用ではなく、適切な利用によるメリットではないでしょうか。

**２．注意されるより褒められると実行したくなります。**

　「汚さないで」と書かれた張り紙より、「きれいに使ってくれてありがとう」と書かれているほうがきれいに使おうという気持ちになりませんか。多くの子ども達は、今のインターネット接続機器を上手に使っています。「上手に使ってくれてありがとう」という気持ちで見守ってあげてください。

　しかし、トラブルを回避する知識や機器の特性、仕組みを学ぶことも大切です。その知識が、子ども達の上手な利用を支える力になります。その力を育てることが、学校で行う情報モラル教育の目指すところです。学習内容についてご家庭でも話し合って頂けますと嬉しいです。